

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公開番号】特開2015-106307(P2015-106307A)  
【公開日】平成27年6月8日(2015.6.8)  
【年通号数】公開・登録公報2015-037  
【出願番号】特願2013-248523(P2013-248523)  
【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 2 0 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月3日(2016.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象物体を構成する一または複数の部位の画像特徴である部位特徴を用いて、検出対象画像に対象物体像が存在するか否かを識別する物体検出装置であって、

前記検出対象画像における複数の位置に所定サイズの部位窓を設定し、当該部位窓内に対して前記部位特徴に適合する程度である部位適合度を算出する部位適合度算出部と、

前記部位適合度の分布を生成する分布生成部と、

前記部位適合度の分布を特徴量として前記対象物体の存否を識別する分布識別部と、  
を少なくとも含むことを特徴とした物体検出装置。

【請求項 2】

前記部位適合度算出部は、部位ごとに前記部位窓を設定する探索範囲を定めた請求項 1 に記載の物体検出装置。

【請求項 3】

前記部位適合度算出部は、前記部位窓のサイズを予め定めた変化量の範囲にて変化させる請求項 1 または請求項 2 に記載の物体検出装置。

【請求項 4】

前記分布生成部は、部位窓ごとに設定された前記検出対象画像における各部位の所在する基準位置から同一の投票位置までの投票ベクトルを用いて、部位適合度を算出した部位窓の位置から投票して前記部位適合度の分布を生成する請求項 1 ～請求項 3 の何れか 1 項に記載の物体検出装置。

【請求項 5】

前記分布生成部は、前記検出対象画像を複数領域に分割し、当該分割領域ごとに前記部位適合度の分布を生成する請求項 1 ～請求項 4 の何れか 1 項に記載の物体検出装置。